

2002 年最後の雑誌をお届けします。

特集は「運動障害がある場合の内部障害への対応」です。特集テーマはその内容を正確に表すことはもちろんですが、キャッチコピーとして読書の皆様にその意図を魅力的に伝える役割をもっています。「名は体を表す」「看板に偽りあり」などその注目度が高いだけにセンスが問われるところでもあります。難しい内容を誰にでもわかる洗練された言葉で表現できることは、真の理解がなされたことの証ともいえるでしょう。

特集は、5名の理学療法士にご執筆いただきました。有蘭・他論文では、全身持久力の評価を中心に詳細な解説をいただきました。表には具体的な方法が示されており、臨床的に応用しやすいものがまとめられています。増本・他論文では、拘束性呼吸障害について詳細に解説されています。高齢者や脳血管障害を対象とする理学療法士には、参考になる内容です。木村論文では、代謝障害を中心に解説されていますが、理学療法のあり方にも一石を投じています。近年の高齢者に対する運動(療法)には、高強度負荷による筋力増強が支持され、わが国でも様々な医療機器の開発とともにそのプロトコルが紹介されています。一方、木村氏が述べている LIEP(低強度運動療法プログラム)、LLL(局所長時間低強度)プログラムは生活習慣とあいまって重要な概念です。1本のロープが失明者の意欲と活動性を引き出したことを、豊かな時代であるからこそ大切にしたいと感じました。重田・他論文では、腎機能障害患者の症例検討を中心にわかりやすく解説されています。吉田論文では嚥下障害に対する理学療法について具体的に解説されています。脳血管障害で嚥下障害を有する例は少なくなく、全身をみるなかでその評価と治療を一般の理学療法士が行う必要性和効果が述べられています。

この5本の論文は、特集テーマの回答としてのみならず、理学療法がいかに多くの病態・障害に対応することが可能であるのかを示しています。「学問の進歩とは可能性の広がりである」と言った科学者がおりますが、その意味ではこの特集に理学療法の進歩をみる事ができると感じるのは身最良でしょうか。

入門講座では福祉用具3として歩行補助具が取り上げられています。図や写真を多用し、丁寧な解説がなされており、入門講座としてわかりやすい内容になっています。講座は、理学療法の倫理3で倫理ディレンマ事例の検討がなされています。10の事例とともに重要なメッセージがわかりやすく関連づけられています。1ページ講座は2年間にわたる理学療法用語で、教育評価と教育内容が取り上げられています。エビデンスの教授について段階的に解説されており、用語の包含する背景についても詳細な検証がなされています。

とびら、プロGRESS、学校探検隊、理学療法の現場からでは、それぞれの熱い思いが述べられています。昨今では多くの研究会・勉強会が行われていますが、都心部では参加者・参加率が低く、周辺過疎部ほど集まりがよく熱気も高いようです。人間にとって便利すぎる情報や環境というのは、むしろ感受性や活動性を低下させるのでしょうか。

2003年こそ世界が平和でありますように願わずにはいられません。

今年もお世話になりました。来年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

(内山 靖)

理学療法ジャーナル

(第36巻 第12号)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

2002年12月15日発行(毎月1回15日発行)

〒113-8719 東京都文京区本郷5-24-3

電話 本誌編集部直通(03)3817-5703

定価(本体 1,650 円 + 税)

(担当: 平岡・山崎)

販売部直通(03)3817-5659・5660

広告室直通(03)3817-5696

[2002 年 年々ぎめ予約購読料 20,280 円]
(配送料弊社負担)

ファクシミリ(03)3815-7802

E-mail: ptj@igaku-shoin. co. jp

振替口座 00170-9-96693 番

Web http://www. igaku-shoin. co. jp/mag/ptj/

印刷所 三 報 社 印 刷(株) ☎(03)3637-0005

広告申込所 (株)医薬広告社 ☎(03)3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2002, Printed in Japan

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有しています。

・ [ICLS] <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

●編集顧問●

上 田 敏
五 味 重 春
津 山 直 一
福 屋 靖 子
横 山 巖

(五十音順、以下同じ)

●編集委員●

網 本 和
安 藤 徳 彦
内 山 靖 子
大 川 弥 生
高 橋 正 明
鶴 見 隆 正
奈 良 敷
吉 尾 雅 春

●編集同人●

伊 藤 俊 一
伊 橋 光 二
今 川 忠 男
上 田 陽 之 郎
大 峯 三 郎
岡 西 哲 夫
岡 本 慎 哉
菊 地 延 子
木 山 喬 博
工 藤 俊 輔
佐々木 伸 一
佐 藤 剛
佐 藤 秀 一
高 口 光 子
高 田 京 子
寺 山 久 美 子
富 樫 誠 二
富 田 昌 夫
長 尾 哲 男
長 澤 弘 弘
永 富 史 子
中 村 春 基
橋 元 隆 治
濱 出 茂 彦
備 酒 伸 彦
福 田 恵 美 子
星 文 彦
前 田 哲 男
牧 田 光 代
丸 田 和 夫
丸 山 仁 司
宮 本 省 三
諸 橋 勇 彦
八 木 範 彦